

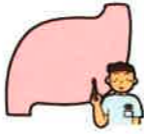
幸福で豊かな生活は、健康な毎日から



(一財)九州健康総合センター  
北九州市八幡東区平野1-11-1  
電話代093-672-6050  
http://www.kyuken.or.jp  
編集 機関紙編集委員会  
発行人 久野靖治

# 胃検診のおすすめ

胃がんは、胃の壁の最も内側にある粘膜内の細胞が、何らかの原因でがん細胞になったものです。日本人の死因第1位の悪性新生物のうち、胃がんは男性では肺がんに次いで2位、女性は大腸がん・肺がんに次いで第3位と、毎年多くの方が胃がんが原因で亡くなっています。(平成23年、厚生労働省)



医師 河野 承子

## 1. 胃がんの症状

胃の痛み・不快感・違和感、胸焼け、吐き気、食欲不振などが代表的ですが、これらは胃がんに伴う胃炎や潰瘍によるものであることが多いです。特に早期胃がんにおいては、がんそのものの症状はあまり目立ちません。食事が喉を通らない、つかえる、体重が減る、といった症状は、進行胃がんの可能性もあります。この他、がんからの出血による黒色便なども胃がん発見のきっかけとなります。胃がんは検査をしなければ確定診断はできませんので、胃薬などで様子を見るよりも、まず医療機関を受診し、検査を受けることが大切です。

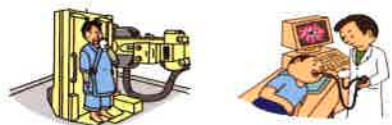
## 2. 胃がん検診

胃の検査方法として一般的なものは、「胃X線検査」、「胃内視鏡検査」、「ヘリコバクターピロリ抗体検査」、「ペプシノゲン検査」、「ABC検診」です。

### 1) 胃X線検査(バリウム検査、胃透検査)

胃X線検査は、バリウム(造影剤)と発泡剤(胃をふくらませる薬)をのみ、胃の中の粘膜を観察する検査です。異常の有無はX線撮影された消化管像の形状で診断します。胃がんを見つけることが目的ですが、良性の病気である潰瘍やポリープも発見されます。

バリウム検査で異常が見つかった場合は、後日改めて胃カメラを受ける必要があります。要精密検査の結果が出た場合は、症状が無いからといって放置せず、必ず胃カメラを受けるようにしてください。



### 2) 胃内視鏡検査(胃カメラ)

口や鼻から挿入した内視鏡で胃の中を直接観察する検査です。内視鏡検査は、胃の中の小さな病変を見つけることが可能で、胃X線検査でがんなどが疑われた場合、診断を確定するための精密検査として行われます。また病変部の組織を採取(生検)し、良性か悪性かを診断することができますので、症状の現れにくいがんの早期発見に役立ちます。

### 3) ヘリコバクターピロリ抗体検査

ヘリコバクターピロリ菌とは胃の中に生息する細菌です。原則として幼少期に感染した後長期間持続し、胃粘膜の炎症を起こします。この胃粘膜の慢性炎症により、慢性萎縮性胃炎と呼ばれる胃粘膜が薄く萎縮した状態になっていきます。この慢性

萎縮性胃炎と胃がんの発生には密接な関係があることが知られています。つまりピロリ菌感染により胃がんのできやすい環境になるものと考えられています。

この他ピロリ菌感染は胃潰瘍の約9割、十二指腸潰瘍の約7割に関与していると考えられています。

ヘリコバクターピロリ抗体検査はピロリ菌に感染しているかどうかを調べるもので、当施設では血液検査(血清抗体法)を行っています。

### 4) ペプシノゲン(PG)検査

ペプシノゲンとは胃で作られる消化酵素ペプシンのもとになる物質で、胃酸を分泌する領域(胃底腺領域)から分泌されるペプシノゲンI(PG I)と、胃全体から分泌されるペプシノゲンII(PG II)に分類されます。ペプシノゲンの血中濃度を測定することにより、ペプシノゲンの生産度が分かり、値が少ない場合は胃粘膜の萎縮を示します。

### 5) ABC検診(胃がんリスク検診)

ピロリ菌感染の有無とペプシノゲン値による胃粘膜萎縮の程度の組み合わせにより、胃がんになりやすいかどうかをABCDの4段階で判定します。

A群→B群→C群→D群の順に胃がんになるリスクが高まっていきます。

	ピロリ菌	PG値	胃の健康度	年間の胃がん発生頻度
A群	-	-	健康な胃粘膜	ほぼゼロ
B群	+	-	ピロリ菌感染はあるが胃粘膜の萎縮は進んでいない	1000人に1人
C群	+	+	慢性萎縮性胃炎	500人に1人
D群	-	+	胃粘膜萎縮が進み過ぎ、ピロリ菌が胃に住みなくなる	80人に1人

出典：NPO法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構

## 3. 最後に

ピロリ菌検査、ペプシノゲン検査はいずれも胃がんを直接見つけるための検査ではありませんが、前述のように胃がんになりやすい状態かどうかを知ることができます。陽性と判定された方は、必ず胃内視鏡検査を受けましょう。

また胃がんは遺伝や個人の体質、喫煙や食生活(塩分の多い食品の摂取、野菜や果物の摂取不足)などの環境要因が重なって発症するものと考えられています。まずはこのような生活習慣を改善し、定期的な胃検査を受けることをおすすめします。



# 2013年11月25日移転しました



立体駐車場  
(お客様用です)

私達はお客様に満足していただける健診施設を目標として新センターを整備いたしました。立体駐車場をつくりお客様に安心して駐車いただけるようになりました。センターは明るく広くなり、ゆったりとした空間を利用してドック専用の待合室、更衣室、診察・問診室、独立した婦人科、明るく開放感があり、充実した設備の運動機能検査室をつくりました。皆様にご納得いただけるものと思いますので是非ご利用下さい。ではほんの一部ですが、新センターの紹介をさせていただきます。



ロビー  
(明るく開放感があります)



運動機能検査室  
(シャワーも備えています)



検査、待合  
(次の検査までゆったりとお待ちいただけます)



診察室・問診室  
(診察室、問診室は個室にし、プライバシーを確保いたしました)



ドック待合室  
(ドック専用の空間です)



婦人科  
(女性だけのエリアですので、リラックスして受診していただけます)

## ～ 九健けんこう塾のご案内 ～

健康づくりに役立つ無料講話を開催します。  
(講師:保健師・管理栄養士・健康運動指導士)

どなたでもご参加できますので、お気軽にお申し込みください。 ホームページ <http://www.kyuken.or.jp/>

★平成 26 年度

「6月7日(土)」 「7月5日(土)」 「9月6日(土)」 「11月6日(木)」 「1月21日(水)」 「2月24日(火)」 13:30～14:30



九州健康総合センター  
お問い合わせ先  
〒805-0062  
北九州市八幡東区平野1-11-1  
TEL093-672-6210(健診予約)  
ホームページ <http://www.kyuken.or.jp>

### 編集後記

社屋が移転して、4ヶ月が経ちました。紹介のとおり、検査室は明るく清潔に、待合は落ち着いた感じになっていっています。見学がてら、弊センターを利用されてはいかがですか? 定期健康診断はもちろん、ペプシノゲンやヘリコバクターピロリ抗体検査もできますよ。